

## 第1学年外国語 学習指導案

むつ市立田名部中学校  
教諭 川崎 恵美子  
青森県立田名部高等学校  
教諭 堤 孝

1 日時  
平成24年7月6日(金) 第5限(13:45~14:35)

2 学級  
第1学年3組(31名)

3 学級観  
授業に向かう姿勢がよく、1年生らしい生き生きとした表情で授業を受けている。英語を自由に使えるようになりたいと願っている生徒が多い。身の回りのものを英語で言えるようになり、できなかったことができるようになってきていることを実感している。その喜びを自信にかえ、生徒の変容を賞賛しながら、英語学習へのモチベーションを持続させたい。

4 教材  
教科書 NEW CROWN 1 (三省堂)  
単元 Lesson 3 I Like Kendama

### 5 単元について

#### (1) 単元観

like, have, play, know など一般動詞を言語材料とし、好きなものや好きなことについて説明したり、たずねたりする。好きなものについての紹介の仕方やたずね方を教科書を通して学び、実際に英語で自分の好きなものを発表したり、質問したりする力を養う。

#### (2) 生徒観

授業に対して意欲的であり、どの生徒とも分け隔てなく活動できる。特に、話すことや読むことに興味・関心が高く、大きな声でペアワークの発表や教科書の音読をすることができる。一方、語彙などの知識が少ないため、好きなものについての意見が平板になりがちである。

#### (3) 指導観

何度もペアの相手を交換しながらペアワークを重ねることで、話すことへの自信につなげる。この単元では高校生(県立田名部高等学校第3学年11名)との交流を取り入れ、実際に英語で高校生に自分の意見を伝えたり、高校生に質問したり、高校生の意見を聞いたりすることを通して、自らの視野を広げることが期待できる。

### 6 単元の目標及び評価規準

#### (1) 目標

- ・ペアワークにおいて、間違えることを恐れずに話す。
- ・好きなものや好きなことを説明する。
- ・一般動詞を用いた文の構造を理解する。
- ・疑問詞 what を用いた文の構造を理解する。

#### (2) 評価規準

ア コミュニケーションへの関心・意欲・態度	イ 外国語表現の能力	ウ 外国語理解の能力	エ 言語や文化についての知識・理解
ペアワークにおいて、間違えることを恐れずに話している。	好きなものや好きなことについて説明することができる。	/	①一般動詞を用いた文の構造を理解している。 ②疑問詞 what を用いた文の構造を理解している。

### 7 指導計画 ※全7時間

指導内容	配当時間	単元の評価規準
○好きなものや好きなことの紹介の仕方を知る。 ・warm-up として、健たちが好きなものや大切にしているものを聞く。	1時間	エ①
○一般動詞(have, play, like)を用いた文の構造を理解する。 ・一般動詞を用いた文の構造を知る。 ・教科書本文を通して、一般動詞の使い方を理解する。		

<ul style="list-style-type: none"> <li>教科書本文から、好きなものや好きなことの紹介の流れをつかむ。</li> <li>一般動詞を用いた文を使えるように練習する。</li> </ul>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>○一般動詞を用いた文を使い、高校生と英語で意見交換する。</li> <li>日本かアメリカいずれかのサイドに分かれ、それぞれの国の好きな理由やよい点をまとめる。</li> <li>まとめた意見をペアワークで伝え合う。</li> <li>高校生の意見を聞き、自分たちの考えを広げる。</li> </ul>	1時間 (本時)	ア
<ul style="list-style-type: none"> <li>○一般動詞の疑問文・応答文の構造を理解する。</li> <li>一般動詞の疑問文と応答文の構造を知る。</li> <li>教科書本文を通して、疑問文の作り方を理解する。</li> <li>教科書本文から応答の仕方を知る。</li> <li>一般動詞の疑問文・応答文を使えるように練習する。</li> </ul>	1時間	エ①
<ul style="list-style-type: none"> <li>○一般動詞の否定文の構造を理解する。</li> <li>一般動詞の否定文の構造を知る。</li> <li>教科書本文を通して、否定文の作り方を理解する。</li> <li>一般動詞の否定文を使えるように練習する。</li> </ul>	1時間	エ①
<ul style="list-style-type: none"> <li>○疑問詞＋一般動詞の疑問文の文の構造を理解する。</li> <li>疑問詞＋一般動詞の疑問文の文の構造を知る。</li> <li>疑問詞＋名詞＋一般動詞の疑問文の文の構造を知る。</li> <li>教科書本文を通して、疑問詞＋一般動詞の疑問文の使い方を理解する。</li> <li>疑問詞＋一般動詞の疑問文と疑問詞＋名詞＋一般動詞の疑問文を使えるように練習する。</li> </ul>	1時間	エ②
<ul style="list-style-type: none"> <li>○好きなスポーツ・食べ物について対話する練習をする。</li> <li>好きなスポーツや食べ物について聞き出す表現や、更に詳しくたずねる表現をまとめる。</li> <li>漫画の吹き出しに、会話が成り立つように英文を入れ、様々な状況に応じて対話を完成させる。</li> </ul>	1時間	ア
<ul style="list-style-type: none"> <li>○好きなスポーツ・食べ物について対話する。</li> <li>ペアで好きなスポーツ・食べ物について対話する。</li> <li>ペアを替えながら、他の生徒と自由に対話する。</li> <li>上記の活動中に教師のところへ来て、教師と対話する。</li> </ul>	1時間	イ
<p>&lt;後日ペーパーテスト&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇一般動詞を用いた文の構造についての理解をみる問題</li> <li>◇疑問詞 what を用いた文の構造についての理解をみる問題</li> </ul>		エ① エ②

## 8 本時の展開

### ○本時の目標：

日本かアメリカいずれかのサイドに分かれ、それぞれの国の好きな理由やよい点を発表したり、友達の見解を聞いて質問したりする。

時間	指導過程	生徒の学習活動		教師の動き及び指導上の留意点	評価規準	評価方法
		中学生	高校生			
2分	音読  挨拶	グループ毎で2分間で進めるだけ音読をする。(pp.19-25)	中学生のグループに2名ずつ入り、一緒に2分間音読する。	挨拶をする。 高校生との交流授業の意義を説明する。		
8分	speaking activity	<Pattern 1> S1: Are you good at cooking?	生徒はおのこの質問の書かれたカードを持っている。自由に相	5分間、生徒とともに質問活動を行う。		

		<p>S2: Yes, I am. How about you?</p> <p>&lt;Pattern 2&gt; S1: Is this your soccer ball? S2: No, it isn't. It's Ken's soccer ball.</p> <p>&lt;Pattern 3&gt; S1: Do you like baseball? S2: Yes, I do. How about you?</p>	<p>手を見つけ、自分の質問カードに書かれた質問をする。相手の質問にも答える。会話が終わったら、サインカードにサインをし、質問カードを交換する。</p>			
5分	スキット	スキットを聞き、その内容をつかむ。		<p>中学教諭 (J)と高校教諭 (S)とが今日のトピックにつながるスキットを演じる。</p>		
	内容理解の確認	スキットの内容について質問に答える。	<p>J: Do you like soccer or baseball? S: Let me see. I like baseball. I like American baseball players. J: Why? S: American players are big and strong. How about you? J: I like American players, too. But we have many good Japanese players — Ichiro, Matsui, Darvish and so on. Ichiro is the best player, I think.</p>	中学生が内容を理解しているか、Q & Aなどで確認する。		
10分	学習課題提示	<p>“Do you like Japan or the USA?”</p> <p>それぞれの立場で好きな理由やよい点をまとめ、発表しよう。また、友達に質問しよう。</p>	<p>中学生の生活班に入り、それぞれの立場で好きな理由やよい点を英語でまとめる。中学生のつまずきに応える。</p>	<p>机間支援をし、生徒の意見を確認する。</p>		
	自分の意見をまとめる	<p>班になり、それぞれの立場で好きな理由やよい点を英語でまとめる。</p>				
		<p><b>"I like the USA."</b> (supporting ideas) America is very big. I like brown hair. Obama is a good leader. I like Michael Jackson. I like coke. I like American football.</p>		<p><b>"I like Japan."</b> (supporting ideas) Japan is beautiful. I like sushi. Mt. Fuji is beautiful. Japanese people are kind. Japan is safe. I like Shimokita.</p>		
10分	ペアワーク	ペアになり、対話をする。	ペアになり、対話をする。中学生のつまずきにアドバイスをする。	ペアを次々に交換させ、ペアワークを重ね、自信をつけさせる。	ア (ペアワークにおいて、間違	活動の観察

		<p>A: Do you like Japan or the USA?  B: I like Japan.  A: Why?  B: Japan is beautiful. And sushi is good. I like sushi. How about you?  A: I like sushi, too. But I think hamburgers are better. American hamburgers are big.</p>			とを恐れずに話している。)
		時計回りに一人ずつずれてペアの相手を替え、対話を続ける。	時計回りに一人ずつずれてペアの相手を替え、対話を続ける。中学生の理解できない単語はパラフレーズ、絵、ジェスチャー等を用いて説明する。		
8分	Demonstration	<p>Demonstration [2]  高校生と対話をする。</p> <p>Demonstration [3]  中学生同士が対話をする。</p>	<p>Demonstration [1]  高校生がモデルを示す。</p> <p>Demonstration [2]  中学生と対話をする。</p>	それぞれの立場の代表者が前に出て、自分の意見を発表する。	
2分	まとめ  挨拶	挨拶をする。	挨拶をする。	<p>高校生の発表や動きを賞賛する。  中学生の頑張り賞賛する。</p> <p>挨拶をする。</p>	

◎授業交流に参加した青森県立田名部高等学校について

<生徒>

- 英語科に在籍する第3学年の生徒である。平成23年度、2年次にアメリカ合衆国ワシントン州ポートエンジェルス市の姉妹校で語学研修を行っており、異文化理解の大切さや、英語でコミュニケーションを図る必要性を痛感している生徒が多い。また、昨年度むつ市立第二田名部小学校の児童との交流授業を行っており、授業の中で英語を用いることの楽しさを経験してきた生徒でもある。

<単元>

- 「英語理解」の授業で全9時間の計画であり、単元観として、「日本人が英語で姓名を表すとき、“Mariko Yamada”か“Yamada Mariko”のどちらで表すべきかその理由を読み取る題材である。Reading用の教科書なので、スキミングを使い、相反する二つの立場に対してそれを支持する複数の理由を読み取らせることがねらいである。加えて、生徒自身の意見とその理由を英語で述べることができる力も養う。」が示されている。
- 本時は、単元の導入（1時間目）に当たり、「自分の好きなものについてその理由をまとめる」及び「相手が好きなものについてその理由を探り、自分の考えを深める」を主な指導内容としている。中学生との交流を通して、簡単なトピックで単元への導入を図るとともに、対話する相手の年齢層や英語の理解度に応じて臨機応変に対応する経験ができることもねらっている。